

みなみ minami

2018年 冬号

発行：独立行政法人国立病院機構

熊本南病院

熊本県宇城市松橋町豊福2338



熊本県 阿蘇

もうすぐ芽生えの季節

熊本南病院開放型病院連絡会ご挨拶

国立病院機構 熊本南病院 院長 金光敬一郎



厳しい寒さも少しづつ和らぎ、春の訪れが待ち遠しい季節となりました。例年のない厳寒であったと思いますが、インフルエンザの大流行もあり、年初めから、病院も頑張っています。

さて、いよいよ来年度は診療報酬・介護報酬のダブル改定の年になります。将来を見据えての改定になる見込みですが、報道では診療報酬は実質1.19%の減額となる改定と報じられています。医療・介護は益々厳しい時代に突入しています。また同時に2025年問題に掲げられる高齢者医療・介護に向けて医療構想の策定、その調整会議など大詰めを迎えています。国は地域包括ケアシステムの確立を目指しています。私共も地元で高齢者を支える努力を行い、安心して住み続けることができる地域作りに貢献することを目指していきたいと思います。来年は皇位継承の年になります。世代交代についての話も数多く出てきています。熟練者は若者に継承することはしっかり継承しておかねばなりません。病診連携も重要な継承の対象とされます。しっかり連携を維持して、継続して地域に貢献していくことが重要だと思っています。今後も地域連携を密に住み良い地元にする為に南病院は職員一同力を合わせて頑張ってまいります。

本年も連携のほどよろしく申し上げます。

》 各診療科よりごあいさつ

代謝内科

代謝内科では、糖尿病等の代謝性疾患、間脳下垂体、副腎疾患、甲状腺、副甲状腺疾患の診断、治療を行っています。より高度な診断、治療、学術的取り組みに努力してゆく所存です。継続して病診連携、病病連携していきますので、お気軽にご相談ください。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

外科

外科スタッフは4名で、手術を中心とした診療に当たっております。

・金光 敬一郎

(日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、
日本肝胆膵外科学会高度技能指導医)

・林 尚子 (日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医)
・古橋 聡 (日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医)
・江藤 慎一郎 (日本外科学会専門医)

一般外科のみならず、鏡視下手術(腹腔鏡・胸腔鏡手術)や、各種癌に対する化学療法、また緩和療法などを充実させ、高度な医療を地域住民の方に提供できるよう努力しております。宇城地区の基幹病院としての機能が十分発揮できるよう、病診連携、病病連携を通じ地域医療に貢献していきたいと思っておりますので、ご支援の程よろしくお願いいたします。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

呼吸器内科

呼吸器内科は、現在常勤3名(呼吸器学会指導医・専門医3名)非常勤4名で診療に当たっております。平成23年5月には、呼吸器疾患センターを開設し、喘息や慢性呼吸器疾患、高齢者の肺炎や結核を中心とした呼吸器感染症、肺がんを中心とした悪性疾患の治療、緩和ケアまで行っています。地域完結型医療を目指して、日々の診療に取り組んでおります。今後も、宇城地区の基幹病院として、病診連携、病病連携をさらに推進し、質の高い医療を提供して参りたいと考えておりますので、今年もさらなるご支援の程よろしくお願いいたします。

神経内科

神経内科は現在常勤4名(日本神経学会認定神経内科専門医3名、指導医2名)にて診療にあたっております。平成28年6月より当院神経難病センター内に障害者総合支援法による療養介護病棟を開設いたしました。これにより人工呼吸器装着の神経難病患者に加え、障害程度区分5以上の筋ジストロフィー患者の長期入所も可能となりました。パーキンソン病・筋萎縮性側索硬化症等の神経難病を中心とした政策医療を行っておりますが、当院で診療可能な脳梗塞を含め、地域の皆様と連携できればと存じます。

今年も何とぞよろしくお願いいたします。

循環器内科

循環器内科では、心臓疾患全般・高血圧・大動脈瘤・末梢閉塞性動脈疾患等に関する診療をしています。

入院では、心不全増悪時の治療や、高次医療機関で急性期治療を終えた後の退院へ向けての保存的治療・リハビリを行ったりしています。外来では、ホルター心電図・運動負荷心電図・心臓超音波検査・冠動脈造影CT等の諸検査による虚性心疾患・弁膜症・心不全・不整脈等の診断や経過観察を行います。重篤な状態で厳重な管理を要する場合や、疾患によってより専門的な精査を要する場合には、熊本大学病院をはじめとした高次医療機関へ速やかに紹介し、患者様の不利益になることが無いようにしています。今年もよろしくお願いいたします。

消化器内科

消化器内科では、現在、常勤医師1名と非常勤医師5名で消化管疾患、肝胆膵疾患を中心に診療に取り組んでいます。熊本県肝炎インターフェロン及びインターフェロンフリー治療指定医療機関として肝炎治療を行っています。

C型肝炎治療では、副作用の少ない、インターフェロンフリー治療が主体となっており、著効率は100%近くになっています。また、ピロリ菌の除菌治療も行っており、以前より一次除菌率も向上し90%以上となっています。

今後も病診連携、病病連携を通して地域医療に貢献していきたいと考えております。

今年も何とぞよろしくお願いいたします。

血液内科

血液内科、血液・膠原病内科を開設して今年5年目になります。血液内科、血液・膠原病内科の患者様の診療を行っています。不明熱に伴うご紹介にて血液疾患が見つかった事例や、貧血の精査からがんが発見された症例など、血液疾患を疑って紹介いただいた症例から他の疾患が発見されています。比較的早い時点で御紹介をいただき、今後も、血球減少、リンパ節腫脹、多関節痛など、そして他疾患の発見に努めたいと思います。ご相談ください。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

総合診療科

昨年10月に新規開設いたしました。原因不明、複数臓器に跨る症状がみられる場合、あるいは、期待通りの治療効果が得られない時、どの医療機関／診療科に相談するか迷うことでしょうか。このような患者様に、内科系、外科系問わず気軽に当科を利用して頂きたいと思っております。これまでの幅広い経験を活かして、原因究明と治療に鋭意努力しております。地域の皆様のお役に立てる様に取り組んでまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

》 各病棟よりごあいさつ

1 病棟紹介

看護師長 井上玲子

神経難病センターで師長をしています井上です。

昨年、大分県別府市から転勤して参りました。こちらで勤務するようになって感じたことは、熊本の方は人情が厚く、人に優しいということを実感しております。

特に1病棟は神経難病の患者様の思いに寄り添い、闘病生活を支える温かい職場です。

今年も患者様が安心して入院生活や地域での生活を送れますよう皆様の力をお借りしながら努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

緩和ケア病棟紹介

看護師長 君恵優子

緩和ケア病棟が開設し、今年で3年目を迎えることになりました。

当病棟では、積極的な治療は望めませんが、痛みや倦怠感など様々な症状を緩和する事で、残された時間をその人らしく、穏やかに生きて頂くための支援をさせて頂いております。私たちは、これまで多くの方々へのケアを通し、患者様・ご家族様からいろいろな事を学ばせて頂きました。その学びが、患者に寄り添う看護に繋がるよう、スタッフ全員で取り組んでまいります。

3 病棟紹介

看護師長 宮崎里美

当病棟は平成28年4月に病棟再編があり、一般32床（地域包括ケア10床含む）、結核ユニット22床の構成となり、一般には、呼吸器科を中心に、血液内科、循環器科、神経内科といった様々な診療科が入っています。入院されている患者さんは高齢の方が多く、合併症や日常生活動作に障害を持って入院される方もおられます。受け持ち看護師を中心に、地域の介護支援施設職員などと連携を図りながら在宅復帰、社会復帰へ向けて介護サービスの調整や地域包括ケア病床でリハビリを強化した退院支援を実践しています。今後もスタッフ一同心を合わせ、チームワークを高めながら、笑顔で頑張りたいと思います。

外来紹介

看護師長 峯崎眞佐人

外来では、呼吸器科、外科、神経内科、消化器内科、呼吸器外科、循環器内科、血液内科、代謝内科など診療を行っております。

また、昨年10月に総合診療科を開設しました。どの診療科に受診すればよいか、お困りの患者様の対応をさせて頂いております。今後も、地域医療への貢献を目指してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

5 病棟紹介

看護師長 永江容子

病床数42床の外科、消化器内科を中心とした混合病棟です。

外科は消化器（胃がん、大腸がん、虫垂炎、ヘルニア、胆石等）、呼吸器（肺がん、気胸等）乳腺、甲状腺の手術・化学療法、がん看護に特に力を入れ、患者医療を行っております。内科は、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、神経内科など当院の診療科全てにおいて入院の受け入れを行っております。

混合病棟として、手術、化学療法目的の他、先方病院からの経過観察やリハビリ目的、緩和ケア目的の転院、地域の病院、施設からの肺炎を含む呼吸器疾患治療、血液疾患の化学療法や輸血療法、神経難病の初期治療など、院内で対応する全科の患者が対象となるため、安全で質の高い医療が提供できるように看護師のスキルアップとアセスメント力向上に取り組んでいます。

さらに、多職種によるチーム医療をおこない患者様、ご家族の意思を尊重した個性のある看護と安全な医療を目指して日々取り組んでいます。

手術室・中央材料室紹介

看護師長 前田康恵

まだまだ朝夕の寒さが厳しく感じられますが、日中には春の暖かさが感じられるようになりました。

昨年手術室・中央材料室では、院内SPD制度の導入や内視鏡システムの変更が行われ変化が多い一年でした。院内SPD制度は、適切な物品および在庫管理を行うことで、衛生材料費のコスト削減に繋がります。また新しい内視鏡システムは鮮明な画像で消化管内部を観察することができます。本年も手術室・中央材料室スタッフ一丸となって「安心と満足」が得られる看護が提供できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



》 各コメディカル部門よりごあいさつ

医療機器安全管理室

小井手 博利

医療機器安全管理室では、輸液ポンプ・シリンジポンプを始めとする医療機器の操作・保守点検管理・教育などを行っております。

特に、生命維持管理装置である人工呼吸器や除細動器などでは、医療事故が起きないように保守点検や教育に力を入れ、皆様に安心して治療に専念して頂けるように努力しております。

今後も、新しい多種多様な医療機器に目を向け医療の質の向上に努めて参りますので、本年も宜しくお願い申し上げます。

リハビリテーション科

藤崎 暢

リハビリテーション科では、院内のリハビリ業務はもちろんのこと、昨年においては年35回程度「出張健康教室」として地域に出向き、地域の皆様方と関わりその中で地域との継続した関わり的重要性を強く感じることができた一年でした。

今年は平成30年という節目の年です。リハビリテーション科にとっても更なる飛躍が期待できる年になるであろうと思っています。スタッフ一同、昨年以上の「元気」と「笑顔」をモットーに院内のみならず地域の中でも活動して行きたいと考えています。

本年もよろしくお願い致します。

研究検査科

東原 悦子

当院の臨床検査技師は、患者様からの得られた検査情報を正確に分析・評価するために、検査技師としての知識・技術の向上に日々、努めております。

単に、検査データだけを見ているのではなく、患者様の顔が見える思いで業務を行っております。呼吸器、神経・筋疾患の専門病院、また地域基幹病院としての役割を果たしている当院の臨床検査を私達は支えていきます。

地域、職場の健診、かかりつけの病院、人間ドッグなどでの定期的な健康診断で、病気の早期発見が早期治療に繋がりますので、皆様の受診ぜひお勧めします。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

放射線科

浦本 雅巳

当院の放射線科では、MRI装置を用いた①物忘れ検査（認知症検査）、CT装置を用いた②内臓脂肪検査（メタボリック検査）、③慢性閉塞性肺疾患（COPD）検査のほか、様々な検査を実施しております。検査は、画像をコンピューターで処理解析し数値化しますので、先生方の診断の参考にして頂ければ幸いです。地域の先生方のご要望に応え、良質な画像が提供できますよう日々努力してまいり所存です。今後とも放射線診療にご理解、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室からのお知らせ

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、熊本南病院地域医療連携室の運営にご厚情とご支援を頂き、感謝申し上げます。

当院では、平成16年7月1日より「地域医療連携室」を開設し、関係各機関との連携強化、患者さまの紹介・逆紹介等に関わる施設間の各種情報交換や患者さま及びご家族の希望する療養環境等の調整等を行っております。

今後も「地域に密着した優しく思いやりのある医療」の理念の基、地域医療ネットワークの一役を果たすべく、更なる連携活動を推進してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



外来診療医師担当表

※【 】は非常勤医師

平成30年1月1日 現在

| 診療科 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----------------------------------|-------|--|---------------------------------|---|---------------------------------|-------------------------------------|
| 呼吸器内科 | 新患 | 岡本 知久 | 【東 賢次】 | 山中 徹 | 鈴木 智子 | 鈴木 智子 山中 徹 |
| | 再来 | 山中 徹 鈴木 智子 | 鈴木 智子 【濱田 昌平】 | 鈴木 智子 【杉山 みどり】 | 山中 徹 岡本 知久 | 岡本 知久 【猪山 慎治】 |
| 消化器内科 | 新患 | 小河 洋 | 【恵美 加奈子】 午前のみ | 小河 洋 【楢原 哲史】 午前のみ | 小河 洋 | 小河 洋 |
| | 再来 | 小河 洋 | 【恵美 加奈子】 午前のみ | 小河 洋 【楢原 哲史】 午前のみ | 小河 洋 | 小河 洋 |
| 神経内科 | 新患 | 堀 寛子 | 西田 泰斗 | 阪本 徹郎 | 西田 泰斗 | 山下 哲司 |
| | 再来 | 阪本 徹郎 | 堀 寛子 山下 哲司 | 西田 泰斗 | 阪本 徹郎 | 【植川 和利】 |
| | 特殊外来 | ※パーキンソン専門外来（月～金曜日 14：00～ 要紹介状） ※ALS 新患外来（第1・3水曜日 14：00～15：00 要紹介状） ※短期入所希望者外来（毎週、水曜日・金曜日 14：00～） 予約制です。詳細は外来予約担当までお問い合わせください。 | | | | |
| 外科 | 新患 | 金光 敬一郎 古橋 聡 | （手術日） 担当医 | 林 尚子 | （手術日） 担当医 | 金光 敬一郎 江藤 慎一郎 |
| | 再来 | 金光 敬一郎 古橋 聡 | （手術日） 担当医 | 林 尚子 | （手術日） 担当医 | 金光 敬一郎 江藤 慎一郎 |
| 呼吸器外科 | 新患 | | 【白石 健治】 | | | |
| | 再来 | | 【白石 健治】 | | | |
| 代謝内科 | 新患 | 野田 秀幸 | | 野田 秀幸 | 野田 秀幸 | 野田 秀幸 |
| | 再来 | 野田 秀幸 | | 野田 秀幸 | 野田 秀幸 | 野田 秀幸 |
| 血液内科 | 新患 | 長倉 祥一 | | | 長倉 祥一 | |
| | 再来 | 長倉 祥一 | | | 長倉 祥一 | |
| 循環器内科 | 新患 | | 福田 仁也 | 福田 仁也 | 福田 仁也 | |
| | 再来 | | 福田 仁也 | 福田 仁也 | 福田 仁也 | |
| 総合診療科 | 新患・再来 | 花岡 伸佳 | 花岡 伸佳 | | 花岡 伸佳 | |
| ペインクリニック | 新患 | | | | 午前のみ 【柳下 芳寛】 | |
| | 再来 | | | | 午前のみ 【柳下 芳寛】 | |
| 放射線科 | 読影 | 午前 CT・MRI 読影 【非常勤医師】 | 午後 CT・MRI 読影 【非常勤医師】 | | 午後 CT・MRI 読影 【非常勤医師】 | |
| がん緩和ケア外来 | | 予約制 / 午後のみ （金光 敬一郎） | | 予約制 / 午後のみ （金光 敬一郎） | 予約制 / 午後のみ （金光 敬一郎） | |
| 内視鏡検査 （GF・CF） 大腸ポリペクトミー・EMR | | 林 尚子 江藤 慎一郎 | 外科 医 | 江藤 慎一郎 【徳永 智子】 【牟田 龍史】 | （午前のみ） 【宮本 英明】 | 林 尚子 古橋 聡 |
| 腹部エコー 乳腺エコー 甲状腺エコー | | 金光 敬一郎 （江藤 慎一郎） | 小河 洋 甲状腺：金光 敬一郎 | 金光 敬一郎 | 金光 敬一郎 | 金光 敬一郎 小河 洋 |
| 頸部血管エコー | | 神経内科担当医 | 神経内科担当医 | 神経内科担当医 | 神経内科担当医 | 神経内科担当医 |
| 各種検査 | | 筋電図（PM） 脳波（PM） マンモグラフィ 透視等 | 気管支鏡（BF） 脳波（PM） （マンモグラフィ） | 筋電図（PM） 脳波（PM） マンモグラフィ （気管支鏡（BF）） 透視等 | 気管支鏡（BF） 脳波（PM） （マンモグラフィ） | 筋電図（PM） 脳波（PM） マンモグラフィ 透視等 |

診療に関するご相談は、「地域医療連携室」へお気軽にご相談ください。

国立病院機構 熊本南病院 地域医療連携室

病院代表 0964-32-0826

F A X 0964-33-1144